

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナの影響を引きずり、地域との交流が乏しくなっている。地域住民との連携により、地域資源を効果的に活用し、利用者の状態に応じた支援を行っていく必要がある。	地域で行われているコミュニティセンターでの催事に、利用者と共に赴く。催事を通じ、利用者の気分転換を図ると共に、地域の方に施設を知っていただく。また、運営推進会議を活用し、民生委員などと連携を図る。	コミュニティセンターで毎月行われているサロンに、利用者と共に参加する。運営推進会議では民生委員や町内会長に参加いただき、地域に開かれた施設運営を目指す。	12ヶ月
2	35	施設の立地上、線状降水帯やゲリラ豪雨が発生すると建物が浸水することがある。夜間帯にそのようなことが起こると、夜勤者が1人で対応しないといけない。	職員1人1人が水害時に対処できるようになる。	浸水対策の止水パネルを、新入職員含め職員全員使用出来るように、年間を通して定期的に水害対策の研修を行う必要がある。	12ヶ月
3	49	近隣の鶴舞公園には外出することが出来ているが、それ以上の外出が出来ていない。	今後は利用者の行きたい場所や思い出の場所、もう一度食べに行きたい店などに赴く個別ケアを実施したい。	利用者1人1人の個人的な背景をアセスメントし、外出支援の実施を目指す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。